



平成 27 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
(J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

平成 28 年 3 月期第 1 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 1 四半期累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 1 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (A)	1,250	118	139	110
当期実績見込み (平成 28 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (B)	680	△358	△293	△337
増 減 額 (B - A)	△570	△476	△432	△447
増 減 率 (%)	△45.6	—	—	—
(ご参考) 平成 27 年 3 月期実績	4,806	439	471	430

2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資は減少傾向となったものの、輸出が米国向けを中心に持ち直し、企業業績の改善から設備投資は緩やかな増加基調を維持しました。住宅投資も消費税率引き上げの反動からの持ち直しがみられ、雇用改善もあり個人消費は底堅く推移しました。

商品市況は、石油が中東地域の緊張を背景とした上昇から横ばいへと推移し、貴金属は米国の利上げ観測とドル高から白金を中心に下落傾向となりました。穀物は米国産地の天候不良から期末にかけて上昇し、全国市場売買高は11,458千枚（前年同期比120.0%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料につきましては、当社の連結子会社に対する行政処分による業務停止の影響もあり 550 百万円（前年同期比 49.5%）となりました。また、売買損益につきましては、貴金属市場における売買損益が利益となったこともあり、12 百万円の利益（前年同期比 154.4%）となりました。

この結果、営業収益は 680 百万円（前年同期比 54.4%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、1,038 百万円（前年同期比 91.8%）となる見込みであります。これらにより、営業損失は 358 百万円となり、経常損失は 293 百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は 337 百万円をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上